

全力で打ち込んだ経験は必ず強みになる！ 伝統を礎に全国大会を目指す「ソフトボール部」

左から／キャッチャーの根橋沙奈さん(高2)、ピッチャーの安田玖美さん(高3)、ソフトボール部OGの中西咲絵さん(名古屋外国語大学2年生)。



聖霊中学校

ADDRESS 〒489-0863
愛知県瀬戸市せいれい町2番地

TEL 0561-21-3121(代)

ACCESS 最寄駅／愛知環状鉄道「山口」駅より徒歩15分、以下の11系統で学園バス運行。
①上社線②藤が丘線③竹越線④植田線⑤日進線⑥豊田線⑦多治見線⑧山口線⑨藤岡線⑩みどり線⑪守山瀬戸線

爽やかなあいさつ、キビキビとした行動 礼儀正しさが光る「ソフトボール部」

聖霊中学・高校「ソフトボール部」の練習風景をのぞくと、元氣よく目を見て「こんにちは」とあいさつをし、キビキビと準備する姿が印象的。「ソフト部の礼儀正しさは校内で定評があります」という言葉に納得です。

ソフトボール部は中高含めて26名と少人数ですが、聖霊高校は愛知県内有数の強豪校として知られています。その強さの秘密は「自ら気づいてイヤなことほど率先して取り組む、やさしく真面目な姿勢にあると思います」と、2年以上、顧問を務める可児忍先生は分析します。

高3でピッチャーとしてチームを率いる安田玖美さんは「強さと一生懸命なプレー」にひかれて入部。毎朝7時30分から自主練をし、放課後は終礼30分後から練習が始まるため校舎を出たらダッシュという忙しいスケジュールを日々こなし、「先輩の動きを見て、時間前行動が身に付きました」と話します。また試合での声かけが重要となるキャッチャーの根橋沙奈さんは、「あいさつはお互いに清々しい気分になれる」と知り、今は守衛さんやバスの運転手さんにもあいさつしています」とこころ。OGの中西咲絵さんは後輩たちの

言葉を受け、「部活に全力で打ち込んで得た経験は今、他にはない自分の強みになっていきます」とエールを贈ります。

U19日本代表の先輩の背中を追いかけて 初の全国大会出場が目標

昨年は選手権大会県大会で優勝するなど目覚ましい活躍を見せる同部ですが、8人の先輩が引退した後の秋季大会では悔いが残ったといい、「先輩たちに頼り切っていたことに気づきました」「1つのミスで試合の流れが変わる怖さを知りました」と主力の自覚が目覚めたようです。「個人的にはU19の日本代表に選ばれた先輩の背中を追いかけるべく努力し、チームとしては初の全国大会へ出場するのが目標です」と安田さんは力強く語ってくれました。



少人数のため、準備から練習まで上級生・下級生の区別なく行っています。目配りのきく先輩の姿をお手本に、後輩たちが必死に追いかけます。

information

■オープンスクール

6月18日(日)10:00~15:00
11月19日(日)10:00~15:00

■土曜セミナー学校説明会 ※要事前申込

6月24日(土)9:00~12:30
11月25日(土)9:00~12:30

■夏休みオープンスクール ※要事前申込

8月26日(土)10:00~12:40
※部活動体験は15:10まで

■文化祭 個別相談会

9月23日(土・祝)9:00~14:30

8月まで部活に打ち込み、志望大学合格も叶えたOGの中西さんは「引退後に生活を切り替え、朝練と終業後の練習時間をそのまま受験勉強に充てたらしつかり時間を確保でき、改めて「部活を頑張ってきたんだな」と思いました」と振り返ります。また現役の2人も「1時間半の通学時間を活かして、リュックを机にして宿題をすることも」「根橋さん」「冬の筋トレと同じで、試験勉強もつらさを乗り越えれば結果が出る」とポジティブに考えています。「安田さん」と、部活と学業の両立を意識。「努力は裏切らない！」と笑顔を見せる3人は、ソフトボール部で確かな自信を育んでいます。